長野市芸術文化振興基金助成金　実施報告書

団体名	長野少年少女合唱団
事業名	長野少年少女合唱団　第47回定期演奏会

事業内容

令和4年11月13日(日)　午後2時より、長野市芸術館メインホールにて『長野少年少女合唱団第47回定期演奏会』を開催いたしました。　約400名近いお客様にご来場いただき、『開幕の合唱』『童謡唱歌を歌い継ぐステージ』『ポーランドの音楽の世界』『フィナーレの合唱』など、多岐にわたるプログラムにて、約2時間の演奏会を開催いたしました。　小学3年生から高校3年生までの団員に加え、卒団生も参加し、様々な曲を演奏することが出来ました。
なかでも、『ポーランドの音楽の世界』では、ポーランド語を交えた6曲、フォークダンスを取り入れた振付をしながらの5曲を歌いました。その際、ポーランドの民族衣装を身につけ、視覚的にもお客様に楽しんでいただけるステージを演出することができました。
その他、日本の音楽史を支えてきた『童謡唱歌』を歌い継ぐため、学年ごとの少人数でのアンサンブル、合唱の技術を高めるアカペラコーラスを取り入れ、演奏することが出来ました。
また、ポーランド語の指導をしていただいた長野市出身のピアニスト山本貴志先生にもご来場いただき、舞台上でご挨拶していただくことが叶いました。

事業の成果

今回のメインステージであった『ポーランドの音楽の世界』の実現のため、ポーランド語の指導を長野市出身のピアニスト山本貴志先生にお願いすることができました。プロフェッショナルとして世界で活躍されている方との交流ができたこと、そのお人柄に触れられたこと、またポーランド語という未知なる言語に触れ、習得出来た事は子供たちの財産になったと思います。
また、ポーランドの民族衣装を、フォークダンスの振付指導の先生に無償でお借りすることができました。その優しい心根に触れられたことも子供たちの財産となったと思います。演奏会を通して、歌の演奏だけでなく、多くの方のご協力を感じられたことは、大きな成果だと思います。

今後の取り組み

学校教育ではほとんど扱われない『童謡唱歌を歌い継ぐ』ことは長野少年少女合唱団の大きな存在意義だと思っています。この活動は今後も続けます。また楽しいだけではない、『素晴らしい響きをもとめて』アカペラのコーラスに取り組むこと、また外国語での演奏に取り組むことも続けていきます。
今度とも長野少年少女合唱団の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

実施状況

（写真説明１）

（写真説明２）

（写真説明３）

（写真説明４）